

施工業者様用〈施工説明書〉

ジャストカット階段（受台階段）

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

安全上のご注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください



注意

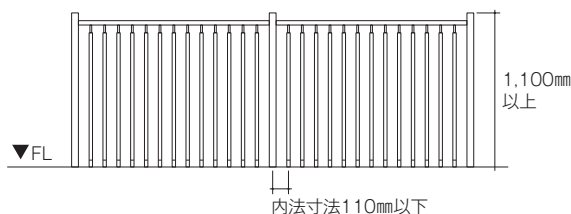
施工に際して以下の警告・注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まわれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。



警告!

- 躯体の強度を確保してください。
階段が取り付け位置には、十分な強度のある柱・間柱・胴縁や梁・大引などの下地があることを確認してください。
- 子柱は、子供がすり抜けないように踏板で使用する場合は2本、2階ホール等に使用する場合は内法110mm以下で取り付けてください。
- 2階ホールの手すりの高さは1,100mm以上としてください。

■2階ホールなど



■階段部分



- 指定の固定方法で取り付けてください。
- 指定の下穴をあけてご使用ください。
- 取り付け後にガタツキ、緩み、ビスの締め忘れがないか確認してください。
- 万が一ガタツキ、ヒビなどの不具合を発見した場合は、直ちに使用をやめて取付業者または販売店にご連絡ください。

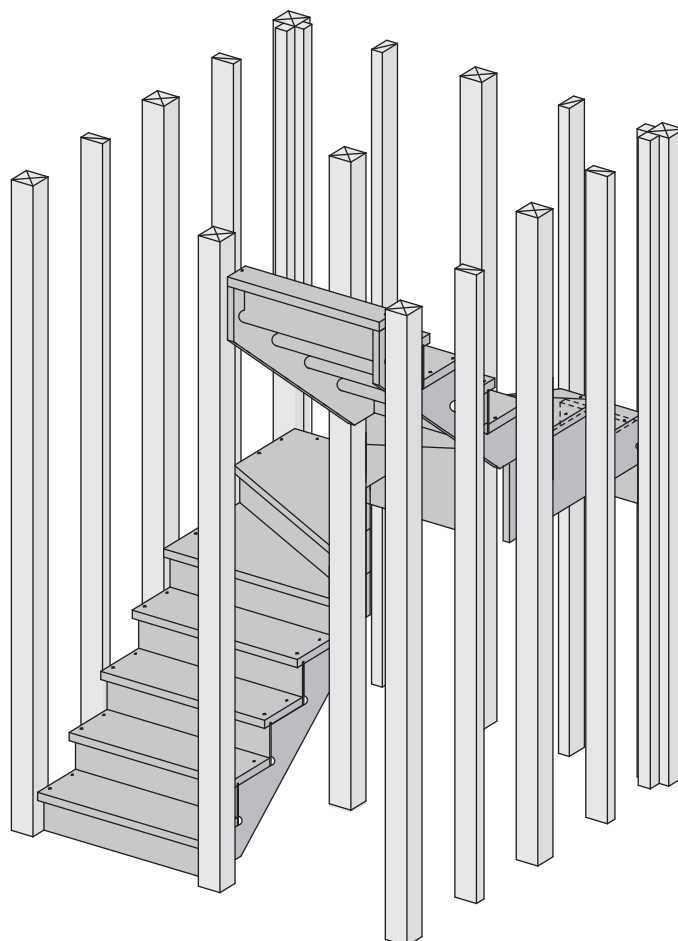


注意!

- 屋外や、浴室などの湿度が高い場所にはご使用できません。
- 開梱後は換気を行ってください。本製品は、ホルムアルデヒド・VOC（揮発性有機化合物）対策品ですが、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留しやすいため、換気を行うようにしてください。
- 階段の勾配が45°を超える場合は、手すりを両側に取り付けてください。
- 手すりは踏面から750～800mmの高さに取り付けください。
- 手すりは連続して取り付けください。

お願い 安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

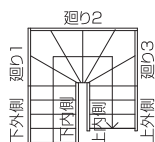
- ・下穴はネジ径の80～85%を目安としてください。
- ・ポリウレタン系接着剤（別売）を少量充填しておくことも緩み止めに効果があります。
- ・手すりの接続、手すり親柱・子柱との接続、手すり・親柱・子柱の躯体との接続は、ポリウレタン系接着剤（別売）を使用して強固に取り付けください。



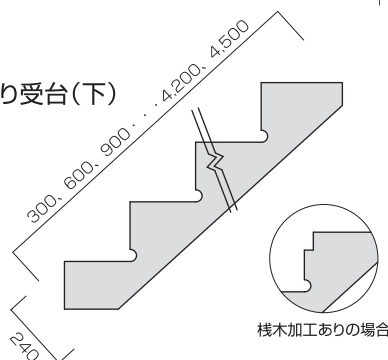
部材図

① 直受台

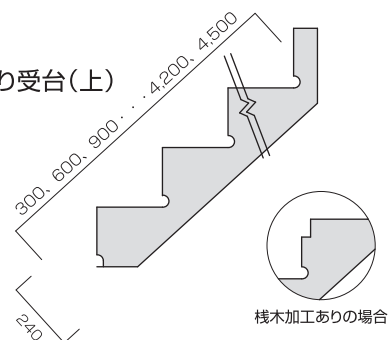
厚さ23mm



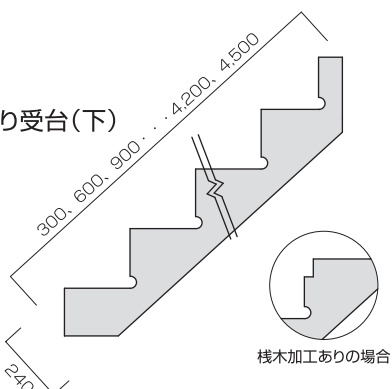
外廻り受台(下)



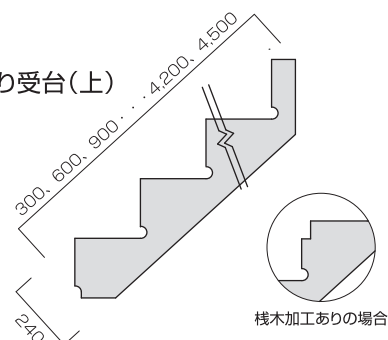
外廻り受台(上)



内廻り受台(下)

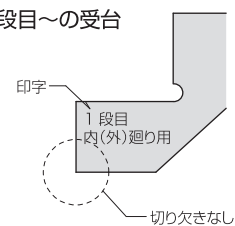


内廻り受台(上)

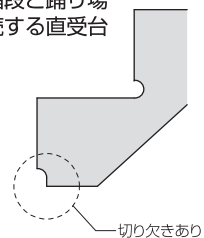


直受台加工の種類

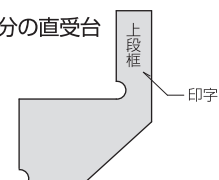
●1段目～の受台



●廻り階段と踊り場と接続する直受台

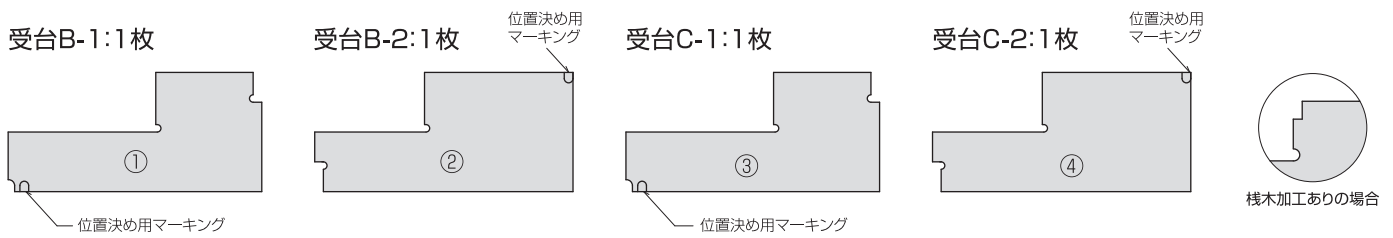


●上段框部分の直受台



② 廻り側板(6段廻り用)

厚さ23mm

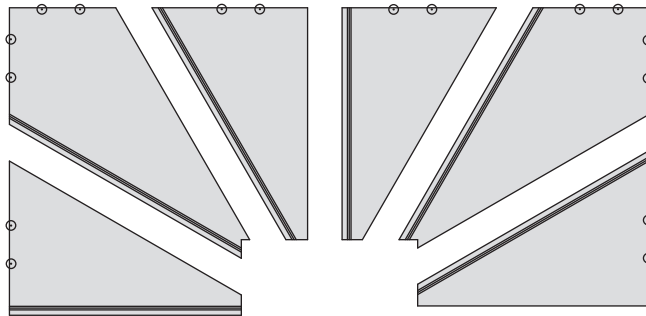


③ 踏板 正寸カット(2面化粧)厚さ36mm

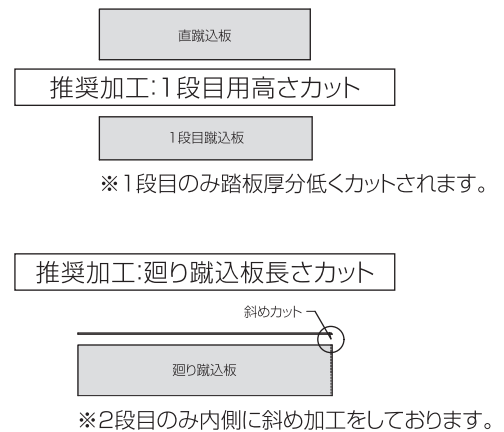


④ 廻り踏板(6段廻り) 正寸カット(2面化粧)厚さ36mm

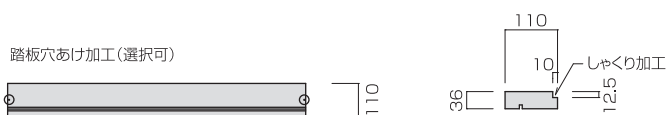
踏板穴あけ加工(選択可)
廻り踏板軸心加工(選択可)



⑤ 蹴込板 (1面化粧)厚さ5.5mm(12mm)

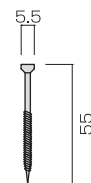


⑥ 上段框 正寸カット(2面化粧)厚さ36mm



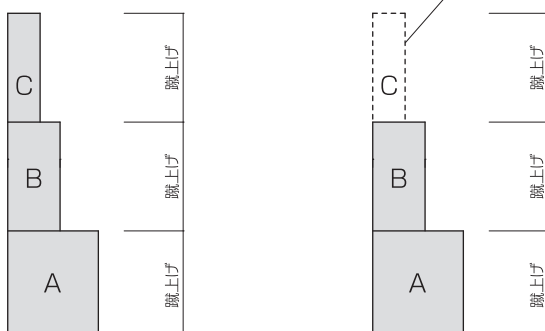
化粧踏板固定ビス (70 本入り/梱)

(踏板穴あけ加工用)



⑦ センター柱用受材

上部に直階段がくるときは不要です。
廻り終わりのときは必要となります。



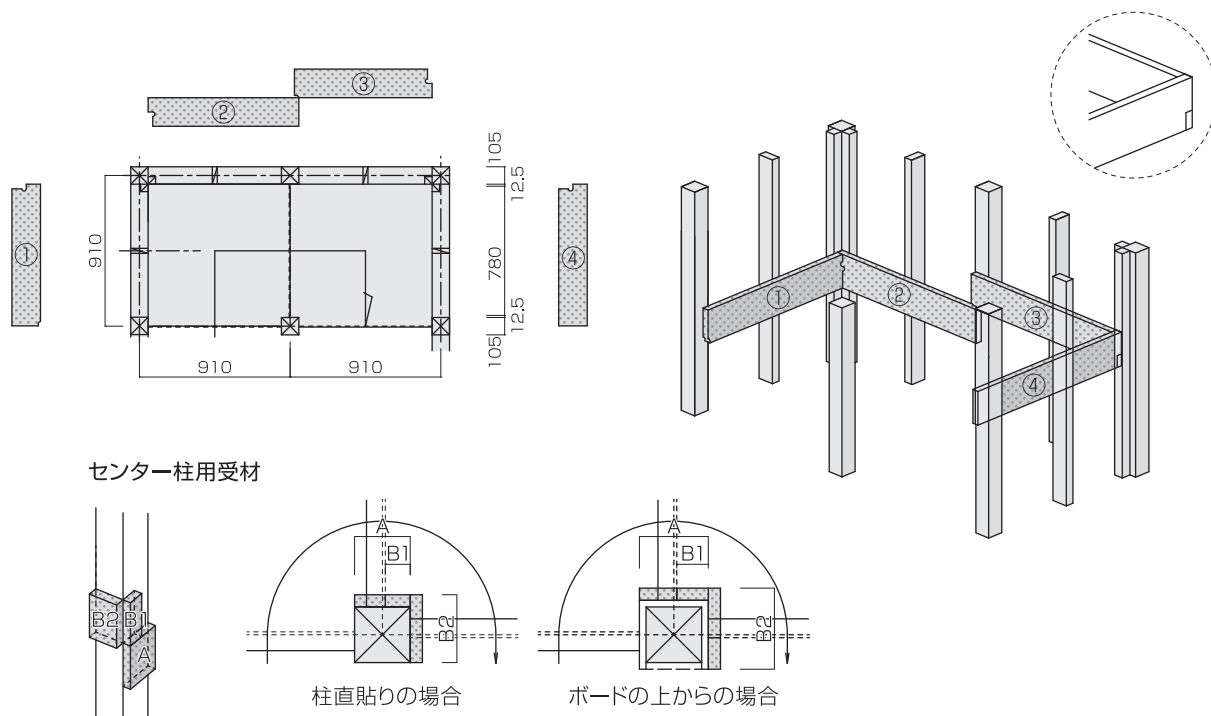
踏板固定金具 (オプション)

(2 個入り/梱)

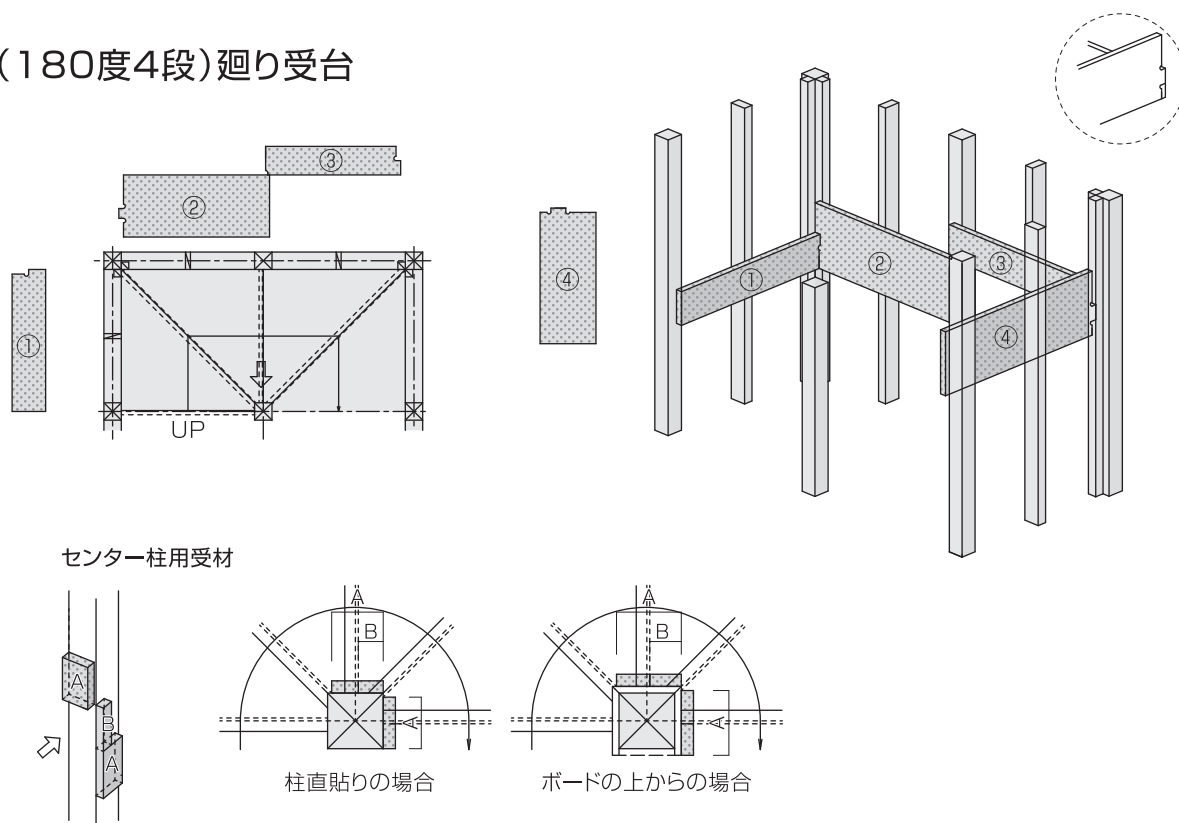


※納品された商品を開梱し、材料の樹種・色・加工内容などに相違がないかを確認してください。
踏面、蹴上げ寸法の確認後、踏板や蹴込板の厚みを考慮して墨出しを行ってください。

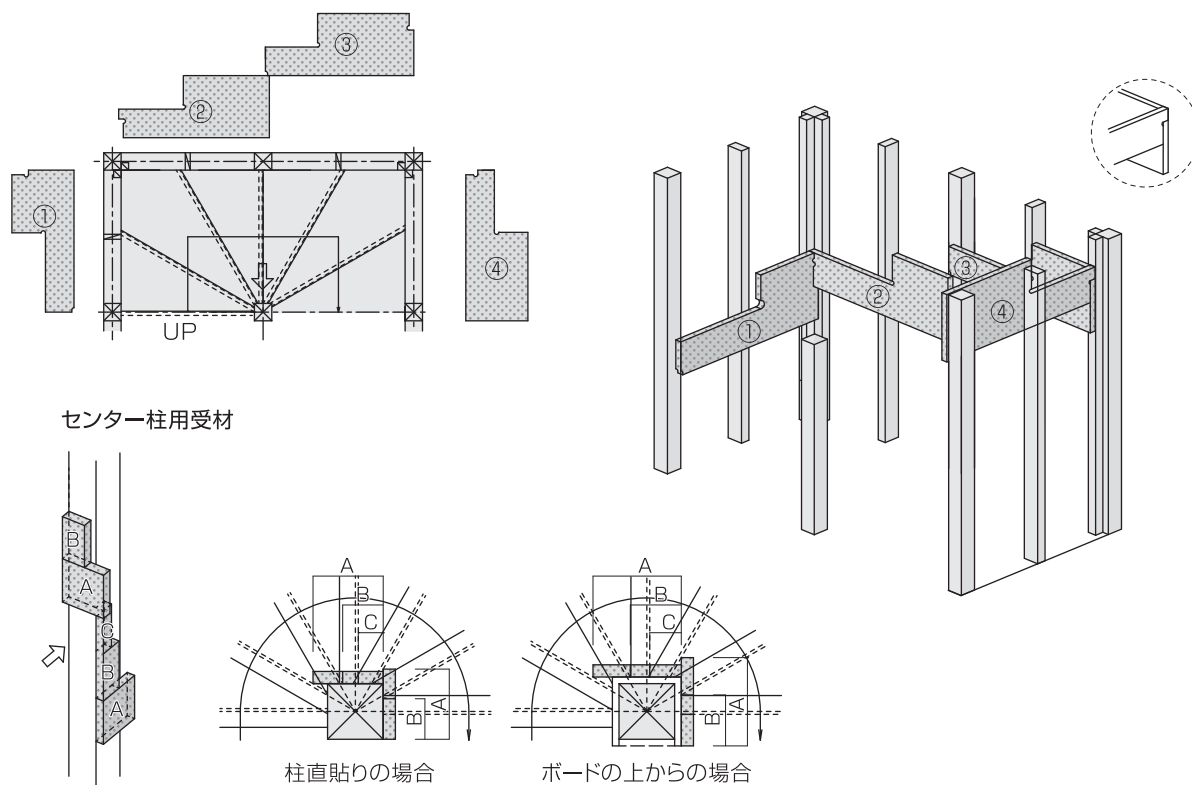
●踊り場(180度)廻り受台



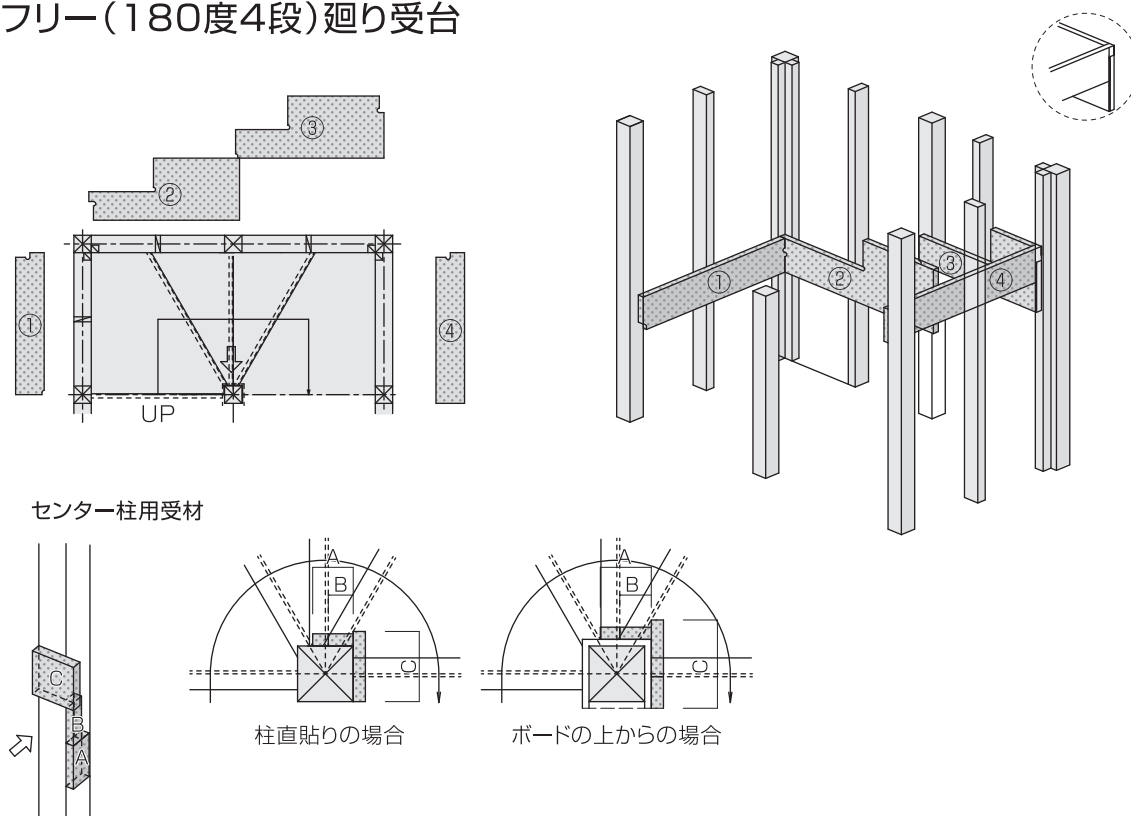
●2段(180度4段)廻り受台



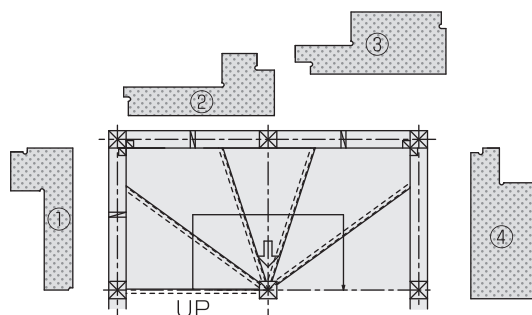
●3段(180度6段)廻り受台



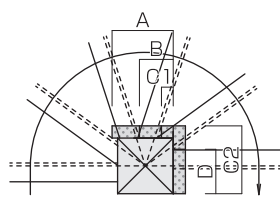
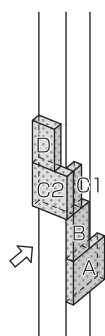
●バリアフリー(180度4段)廻り受台



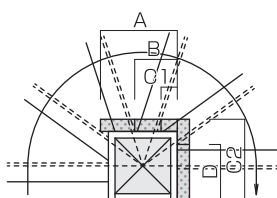
● 180度5段廻り受台



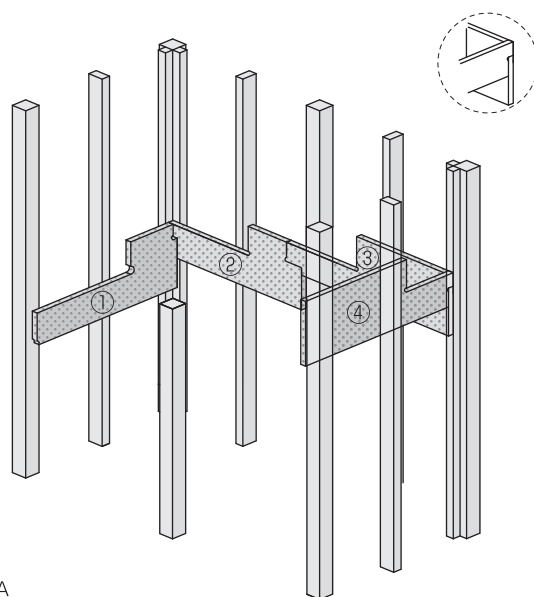
センター柱用受材



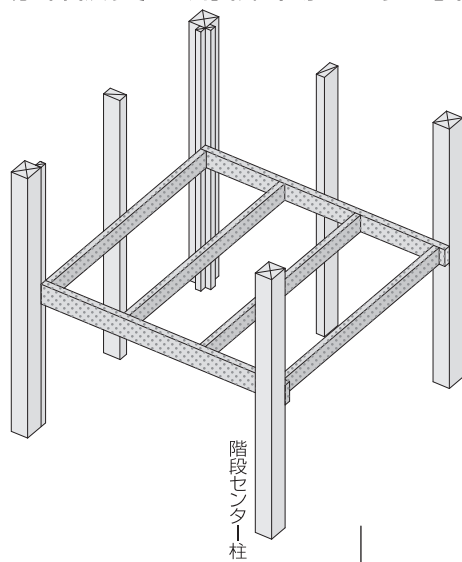
柱直貼りの場合



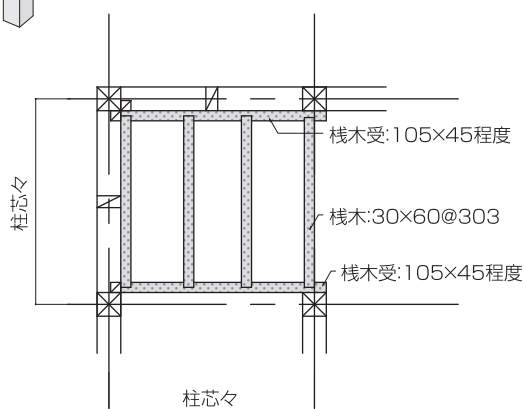
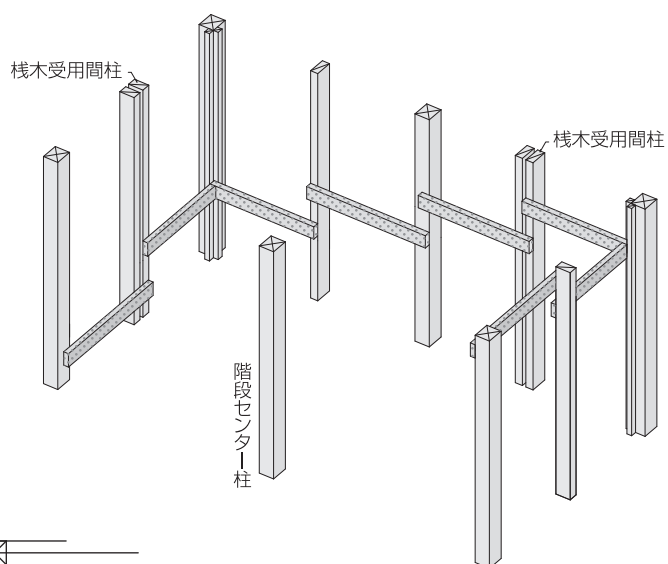
ボードの上からの場合



● 踊り場踏板受け用栈木施工参考図

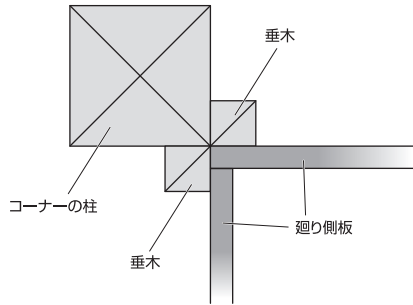


● 6段廻り踏板受け用栈木施工参考図

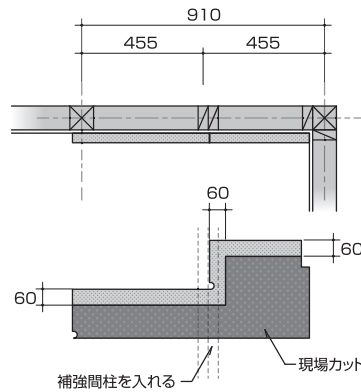


コーナー部分の廻り受台の取り付けについて

コーナーの柱に廻り受台を取り付ける際は36mm角以上の垂木を現場調達してください。



階段下に窓などの開口部がある場合

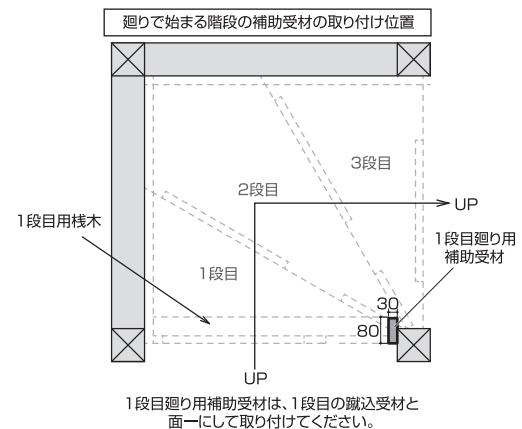
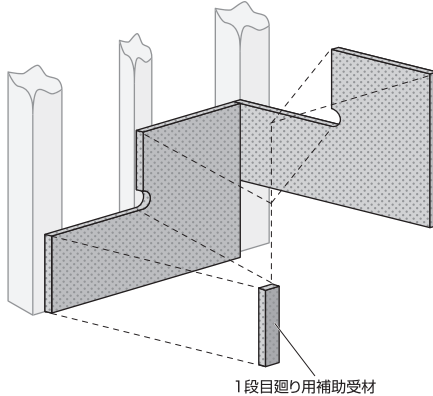


階段下に窓や開口部があるために受台を欠き込まなければならない場合は、最低でも60mm以上は受台の厚みを残すようにしてください。



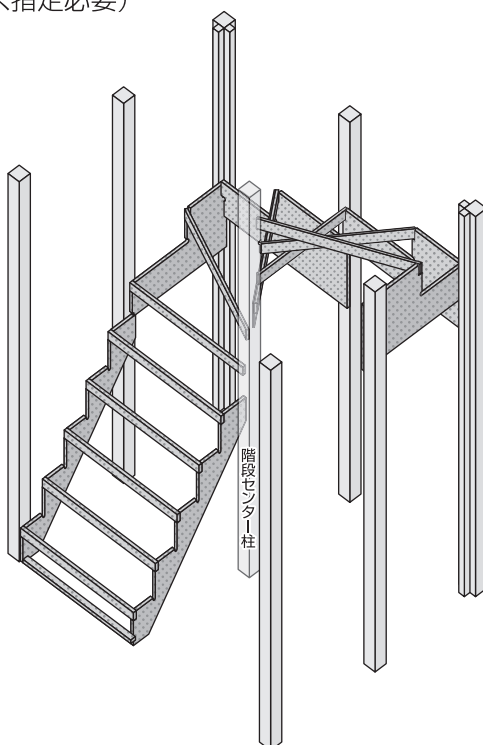
注意 上記の寸法が確保されていない場合、階段の強度に影響を及ぼす場合があります。

1段目が廻り階段から始まる場合



1段目廻り用補助受材は、1段目の蹴込受材と面一にして取り付けてください。

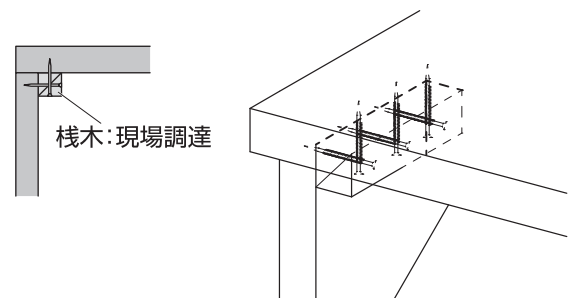
栈木は、LVL 栈木 60mm×30mm のものをご用意しておりますが、他の栈木サイズ(現場調達)でも欠き込み加工可能です。(サイズ指定必要)



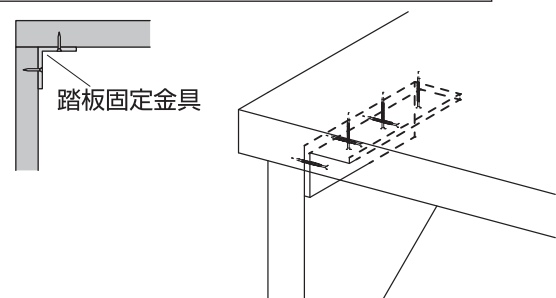
●穴あけ無しの場合の 踏板取り付け補強方法

踏板固定用栈木(現場調達)を使用する場合

階段の裏側から踏板固定用栈木(現場調達)、もしくは踏板固定金具(オプション)をビスとウレタン系接着剤を併用して固定してください。

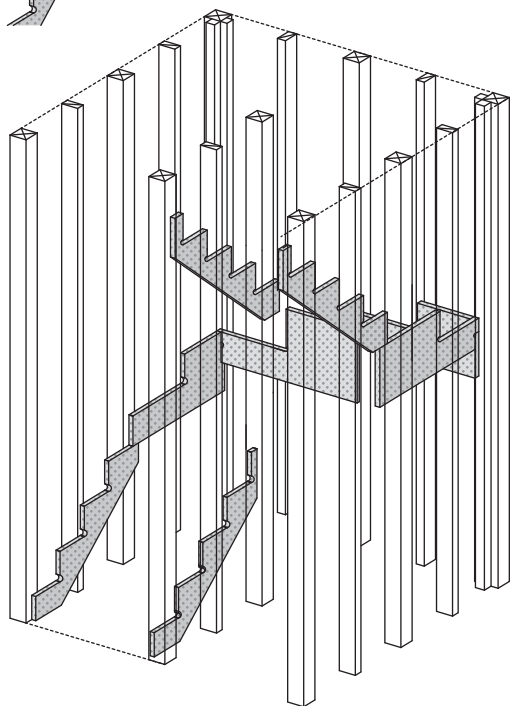
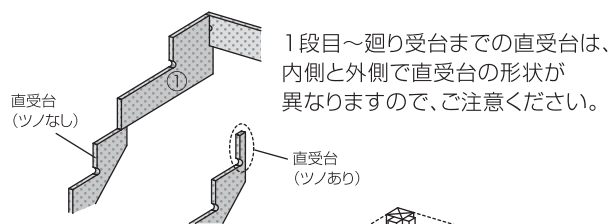


踏板固定金具(オプション)を使用する場合

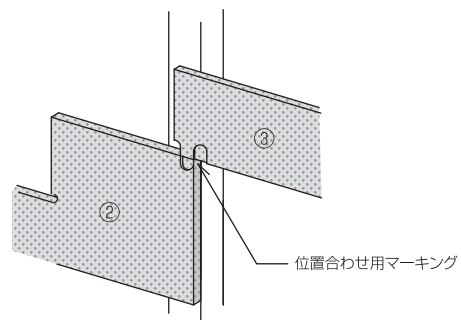


施工手順

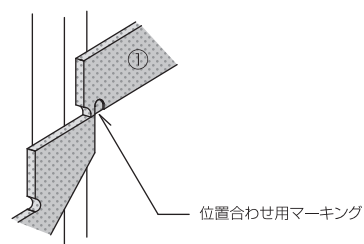
①内外周の受台の取り付け



廻り受台～廻り受台接続部拡大図

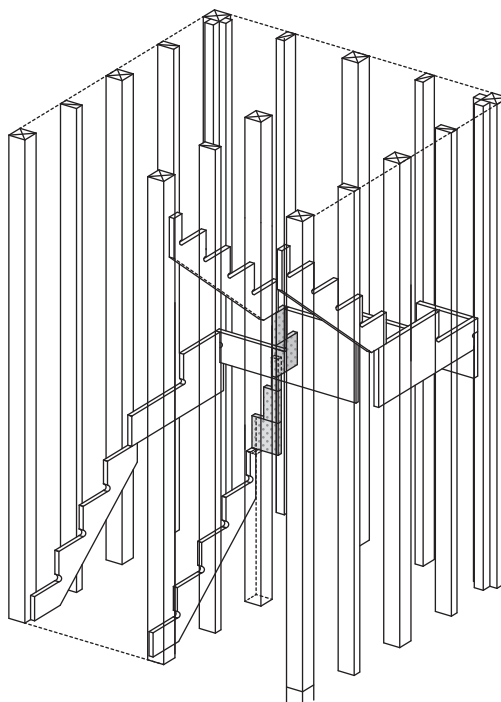
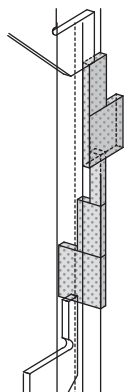


直受台～廻り受台接続部拡大図

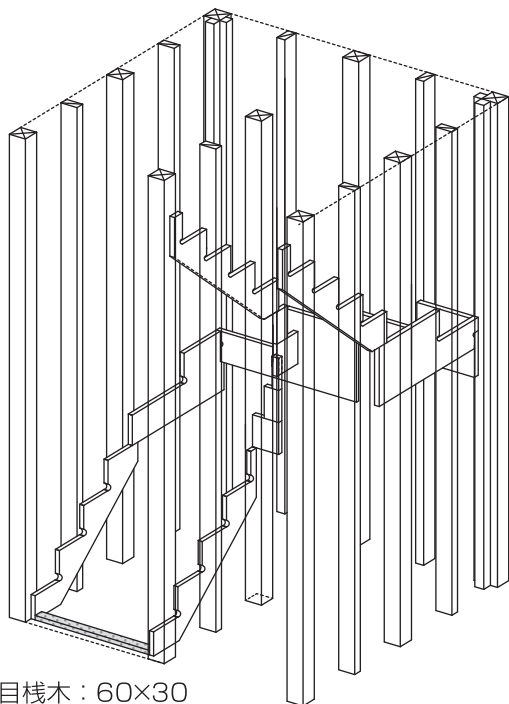


②センター柱用受材の取り付け

センター柱受材拡大図

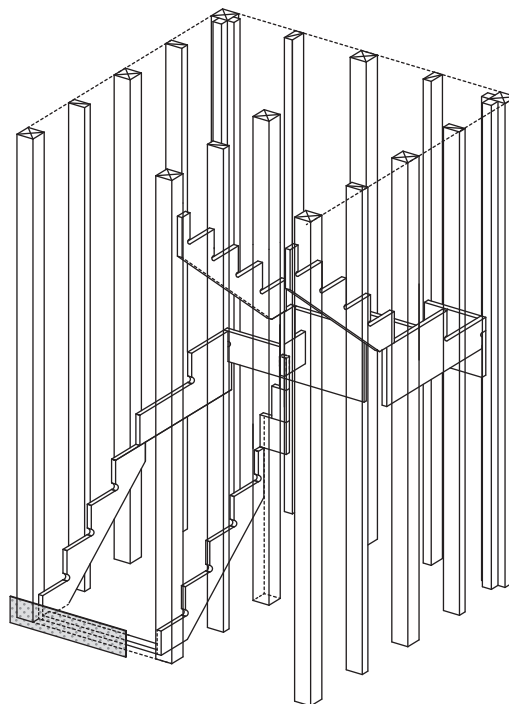


③ 1 段目用棧木の取り付け



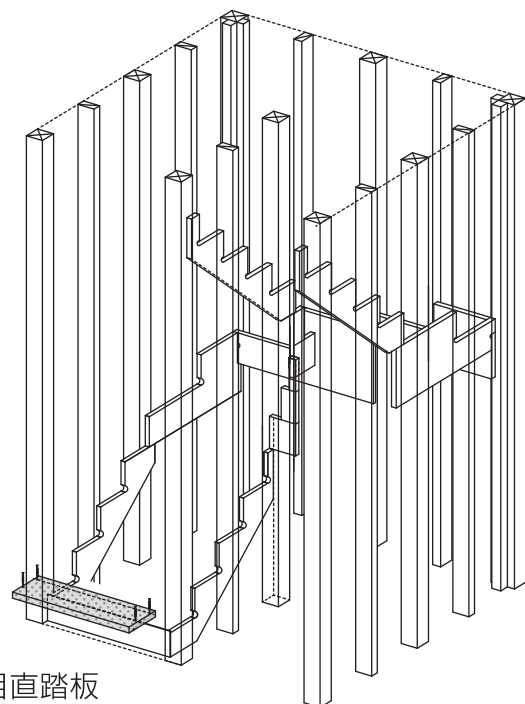
1 段目棧木：60×30

④ 1 段目蹴込板の取り付け



1 段目蹴込板高さカットの場合
他の段の蹴込板と高さが異なります。

⑤ 1 段目踏板の取り付け



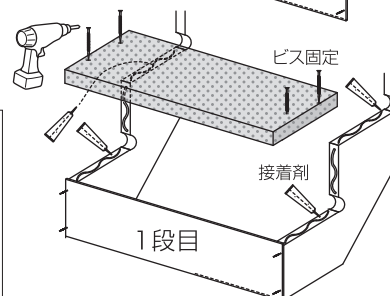
1 段目直踏板

踏板穴あけ加工の場合

フィニッシュ
ネイル等で固定

2 段目以降

専用ビスを
打ち込んで固定



Point!

踏板的専用ビスでの固定は、
ビス頭がなめる可能性がありますので、電動ドリルのビット
は、100mm程度以上のもの
をご使用ください。

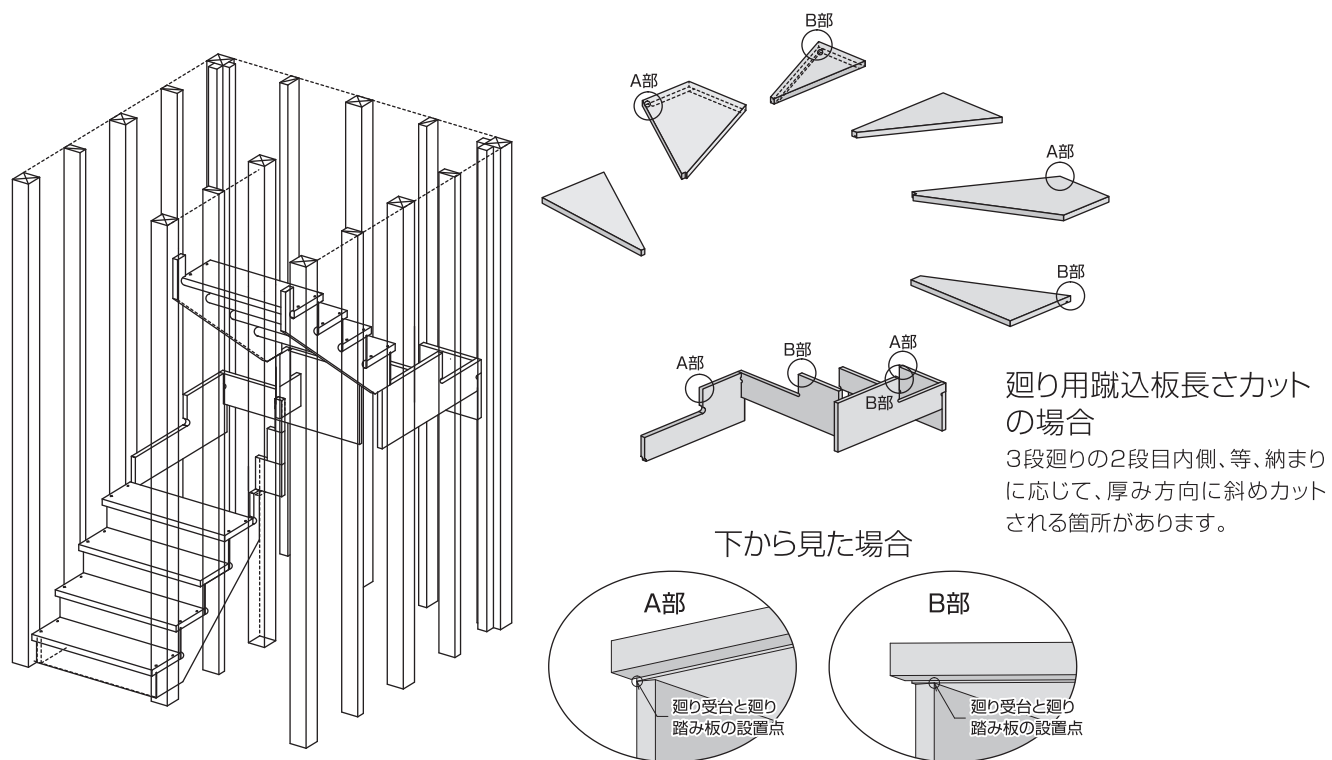
Point!

踏板、蹴込板の取り付け部には
必ずウレタン系接着剤を塗布し
てください。

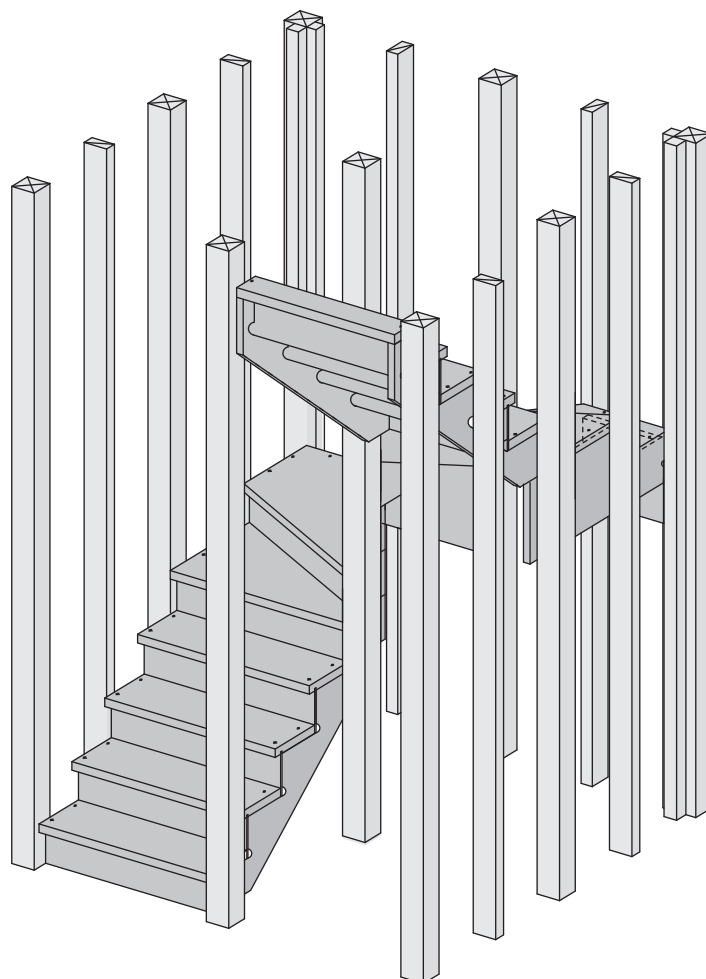
⚠ 注意

踏板固定用の専用ビスを打ち込む際は、
踏板的化粧面に傷などがつかないように
気をつけてください。

⑥ 廻り蹴込板・踏板の取り付け

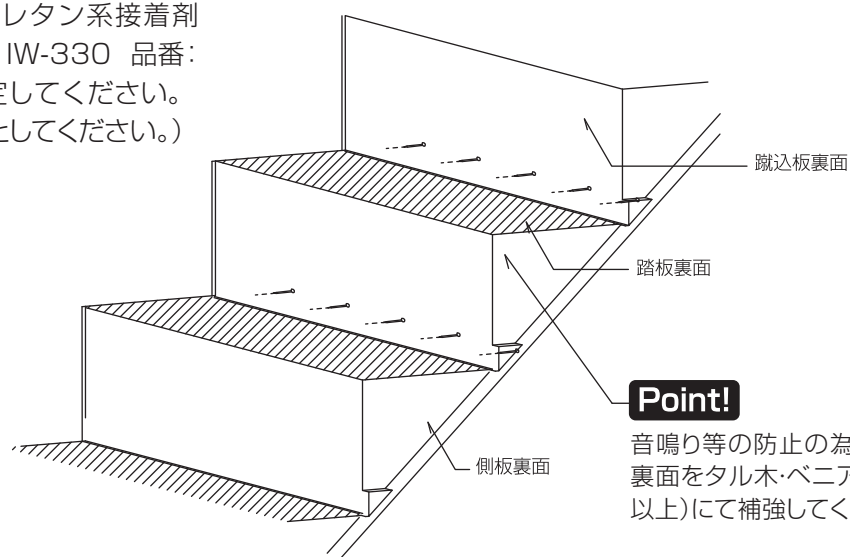


⑦ 完成図



蹴込板の固定、補強について

階段の裏面よりビス等とウレタン系接着剤
(推奨品:ウレタン系接着剤 IW-330 品番:
ZY1211)を必ず併用し固定してください。
(ビスのピッチは100mm以下としてください。)



施工終了後

養生の方法

施工後は木屑や砂・ゴミをきれいに取り除いて、ダンボール・ベニヤまたは養生カバー等で隙間なく養生してください。市販のガムテープ等は粘着が強く、化粧単板および塗装のハガレの原因になりますので、別売の養生テープ(ZY0211)をご使用ください。鼻の出裏面には養生テープを使用しないでください。

お手入れのしかた

階段が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を強く擦ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

ベンジン・アルコール・シンナーなどの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。

使用説明書の手渡し

同梱の「使用説明書」を使用される方にお渡しください。使用される方が不在の場合は、施主様に依頼するか製品に貼り付ける等により必ず使用される方に届けられるようご配慮願います。

WOODONE